

# シルバー やまがた

第120号 平成27年10月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会

正会員数 925名 賛助会員 44個人・54団体(9月末現在)



彩りの世界 (もみじ公園) (第二地区 佐藤輝夫さん撮影)

## — 内容紹介 —

- |    |                                   |      |                           |
|----|-----------------------------------|------|---------------------------|
| P2 | 事業普及啓発促進月間<br>要請活動展開              | P6~7 | 会員のひろば                    |
| P3 | 安全標語入選発表会<br>安全講習会開催              | P8   | シルバーに人あり技あり心あり<br>女性部会だより |
| P4 | 会員の状況・就業状況について<br>長瀬理事長、県連合会会長に就任 | P9   | 就業会員を訪ねて<br>新入会員紹介        |
| P5 | 地域紹介「わが街自慢」                       | P10  | 事務局だより                    |

ホームページでもご覧いただけます。

山形市シルバー人材センター

検索

# 10月は事業普及啓発促進月間です

—地域活動の一層の推進を—

高齢者の就業、ボランティア活動等を通じた地域社会への参加を一層促進するため、シルバー人材センターの組織・機能の拡充が大変重要です。

今年も十月は、事業普及啓発促進月間として、全国一斉に事業の普及啓発活動が行われます。

当センターにおいても次の事業を実施いたします。会員の皆様のご協力と参加をお願いいたします。

## 一 事業の実施期間

十月一日（木）から十月三十一日（土）

## 二 事業の実施内容

① 県シルバー人材センター連合会主催の安全就業推進大会への参加（十月十六日・山形テルサ）

② 会員と市民が交流するシルバーフェア等の開催（会員互助会文化祭における活動風景パネル展示）

③ 役員、会員によるボランティア活動等の社会奉仕活動の実施（会員による街路清掃活動及び交通安全啓発活動（十月八日）、地区研修会会場等の清掃等社会奉仕活動の実施）

④ マスメディアに対する報道の働きかけ（普及啓発活動内容等の山形市役所市政記者クラブへの情報提供）

⑤ ポスター、リーフレット、広報用映像等を活用した役員、会員による普及啓発活動及び加入の働きかけの実施

（役員による街頭啓発活動（イオン山形南店・山形北

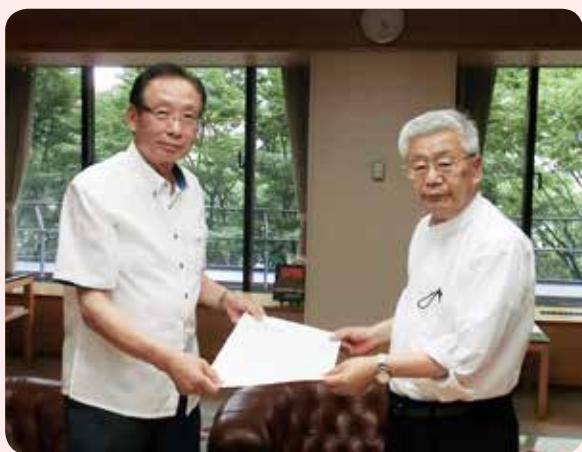
店）、一・一（イチイチ）運動の推進）

# 全シ協総会決議を受け、 市長・議長へ要請活動を展開

平成二十七年全国シルバー人材センター事業協会定時総会が六月二十五日開催され、シルバー人材センターへの支援の要望書が決議されました。この度の要望書は、「生涯現役社会」の構築に貢献するシルバー人材センターに対する補助金の確保・公共事業の発注などの特別の配慮と、会員の働き方に係る「臨時・短期、軽易」要件の緩和、最長三年の派遣契約期間制度を廃止する改正

派遣法案の早期成立を要請する内容です。

この決議を受け、七月十三日、長瀬理事長と笹原事務局長が市川昭男山形市長と石澤秀夫山形市議会議長に対して要望書を手渡しました。当日は、要望書の内容とセンター運営の実情について詳しく説明し、シルバー人材センターへの支援をお願いしました。



# 第12回 安全標語入選発表・安全講習会の開催

八月十日、山形テルサにて、第十二回安全就業標語入選発表会が行われ、応募数二一五編の中から、最優秀作品一編、優秀作品二編、佳作五編が入選発表されました。入選されました皆様、おめでとうございます。

## 安全標語入選作

### 最優秀

笑顔あるシルバー。パワーで 安全就業

(南山形・本沢地区 塩野 邦雄)

### 優秀

ヒヤリハットの体験を 思いおこして 事故防止

(鈴川三地区 阿部 一雄)

忘れまい 油断と過信が 事故まねく

(第十地区 上谷 一郎)

### 佳作

「気をつけて」孫の笑顔で 今日も一日 安全就業

(第二地区 村田せつ子)

指差呼称 見えない所も 見えてくる

(西地区 樋口 俊治)

気のゆるみ 心のゆるみ 事故のもと

(第三地区 清水 勇)

就業前 みんなで唱えよう 事故ゼロ行進

(第三地区 志田 健司)

見のがすな 小さなきけんが 大きな事故に

(金井地区 高田さと子)

## 安全講習会

安全就業推進委員会

委員長 樋口 健 一

八月十日、山形テルサにて、第十回安全就業標語入選発表と表彰式後に、安全講習会が行われ、一二九名の参加がありました。

今年度の事業計画で、「事故ゼロを目指した活動の推進」の中に「交通事故防止の啓発」活動があります。その目的で、山形警察署交通第一課主任の大宮啓二氏と生活安全課係長の溝越浩明氏から「高齢者の交通安全について」と「特殊詐欺(振込詐欺・オレオレ詐欺等)の防止についての講演がありました。

毎日、交通事故の報道が後を絶たず、高齢者、子供に関係なく大きな社会問題になっています。交通事故から「自分の命を守り、他人の命も守れるような運転」も必要です。また、交通ルールが変更になり「横断歩行者妨害」で指導を受ける運転者が増加しています。これは、横断歩道で歩行者が渡ろうとしている場合は、一時停止する義務があります。それに違反すると罰則が適用となることを知り参考になりました。交通

ルールをしっかり守ることが、重要であることを再確認できた講演でした。

特殊詐欺については、日々巧妙化する詐欺行為を自ら防止するには、「自分は大丈夫」の過信を無くしチョットでも疑問を持ったら、家族か知人に相談する。また、様々な詐欺行為の電話は、ハローページから電話を掛けるのが一般的なので、出来ればハローページから電話番号を削除することを、お勧めします。また、「うまい話は落とし穴」うまい話があったら警察にとのアドバイスがありました。

フルート演奏を交えながら、ユーモアたっぷりの講演で、大変有意義な安全講習会でした。



# 会員の状況・就業状況について

平成二十七年四月から平成二十七年八月末まで(上半期)

## ①会員の状況

月別	入会者数	退会者数	当月末会員数	備考
27.3.31			959	前年度末会員数
4月	11 (男8、女3)	103 (男76、女27)	867	
5月	19 (男14、女5)	1 (男1、女0)	885	
6月	14 (男9、女5)	0	899	
7月	10 (男7、女3)	1 (男1、女0)	908	
8月	10 (男8、女2)	0	918	
合計				男：704 女：214

## ②就業状況

区分	職群	就業延人員	備考
一般受注	技術群	0	経理事務、パソコン作業 など
	技能群	17,760	襖張り、障子張り、剪定 など
	事務整理群	1,698	賞状筆耕、統計事務 など
	管理群	21,101	駐車場管理、施設管理 など
	折衝外交群	139	量販店での作業 など
	一般作業群	15,499	除草、草刈り、清掃 など
	サービス群	788	病院での洗濯、らくらく応援隊 など
	計	56,985	
独自事業	自転車再生	140	
	家具リサイクル	3	
	即売会	2	
	計	145	
子育て支援 合計	子育て支援	374	
	計	57,504	



## 山形県シルバー人材センター 連合会会長に就任しました

六月二十三日、山形県シルバー人材センター連合会の定時総会が開催され、会長を務めた堀江前会長が退任し、当センターの理事長である長瀬洋男氏が会長に就任しました。これからは山形市SCのみならず、県下SCのためにその手腕が期待されます。

山形市シルバー人材センター理事長としては山形市長・議長へ要請活動を行いました。連合会会長としての活動として、吉村美栄子山形県知事へ要望書を手渡し、県内シルバー人材センターへの支援を要請しました。

# 第九地区

高橋 直義

私達の住む檜町・馬見ヶ崎地区は、馬見ヶ崎川流域にありま

す。山形市は馬見ヶ崎川の扇状地に発展した町であり、川を中心に生活と文化が生まれた所でもあります。今から三八〇年前、元和八年大洪水を繰り返して来ました。馬見ヶ崎川の流れを、盃山のふもとから一気に北上させるといふ、大改修工事が行われました。その時馬に乗って、みさきから指揮をしていたので、「馬見ヶ崎」の地名がついたという由来もあります。馬見ヶ崎川から、「十二分々水」といふ方法で取水して五堰に流しました。今では市民の生活、街の観光にも役立っています。



馬見ヶ崎河畔

上流には唐松観音、ジャバ、河畔の桜並木、いも煮会、葉師公園、済生病院、中央病院、総合スポーツセンターという、いろんな文化や大規模コミュニティゾーンとなっています。今や水の歴史と共に川の流域にはこれからも、大きな期待と展望があるわけです。我々の先人達は、大洪水、分水、伝染病等、いろんな困難もあつたわけですが、今後も自然を中心とした生活、文化を守っていくことが大切かと思えます。

## 地域紹介

# わが街自慢

## パートII



# 第六地区

伊東 義雄

わが第六地区は山形市立第六小学校及び第六中学校があり、

仙台に通じる国道二八六号線（通称笹谷街道）が山形市南部を東西に横切り、鉄砲町交差点から国道三四八号に変わり白鷹経由で長井に続きます。一日の交通量は三万台を超える山形市で唯一の大横断道で、東を望めば山形市の花であるベニバナの種を山から市内一円に蒔いたとされている標高四七一メートルの千歳山、西を眺めれば標高四〇二メートルの富神山といずれもペロリン君のような三角の山が目に入ります。四車線の沿道には銀行・レストラン・ガソリンスタンド・病院・量販店等が連なっており商業激戦区です。

そしてどうしても行きたくないのが、皆が世話になる場所山形市斎場があります。以前は六



国道286号線

中や旧校舎の山商を卒業した方はよくご存じかと思いますが、独特のけむり（香り？）で東北東の地域を悩ませたそうです。しかし三十数年前に煙突のない近代設備の新斎場になってからは、けむりもなく全然気になくなりました。「ゆりかごから墓場まで」まだまだ飛躍を続ける地区であり、車がなくても充分暮らせる地区、それがわが街第六地区です。

# 人生 下り坂 最高



西地区  
椰橋 芳雄

「人生下り坂最高」などと言いな  
がら日本中を自転車で駆け回って  
いる俳優さんがいるが、今まさに私の  
人生下り坂最高と言ったところ。シ  
ルバー人材センターのお陰で働く機  
会をいただき、それ以外は趣味の時  
間。春から初夏はプランターにいっ  
ぱい花や野菜の苗を植え、季節がよ  
ければ河原で川魚（オイカワ）の餌  
付けや、野鳥を観察しながらウォー

キングをし、それができない日は、  
撮りためた写真を見ながら水彩画を  
描く。気が向けば幼馴染と食事を  
し、退職前の同僚が定期的に酒宴に  
誘ってくれる。妻と休みが重なれば  
ドライブに出かけ東北の奥深さに感  
動する。遠く離れて暮らす孫が年に  
数回やってきて「じいちゃん、じい  
ちゃん」と慕ってくれる。まだ現役  
で働く妻のためしぶしぶ始めた料理、  
これが結構面白く、「今日はプラン  
ターで育てたなすを使って何作ろう  
か？」なんて。さあ、明日は何して  
楽しもう。

# 退職して思うこと



千歳地区  
佐藤 保嘉

私は昨年五月に四十年勤務した会  
社を雇用期間満了で退職しました。  
会社は生保・損保の代理店で県内の  
業界では業績上位でした。社員は役

員を含めて三十名程です。担当は管  
業で面談の相手は企業の経営者でし  
た。保険の営業ですから提案からプ  
レゼンへと進み、契約を締結した時  
は喜びとやりがいを感じたものです  
が緊張の連続でした。

火災事故の現場に立ち会ったこと  
も何度かあります。現場の悲惨な状  
況を見ておのずと防災意識が身に付  
いたものです。又自動車保険は事故  
が付きものです。事故処理では契約  
者の立場になって相手方と交渉した  
ものです。

四十年の営業は厳しかったが、上  
司に指導して頂き同僚の協力を得な  
がら勤務することができました。  
私にとって六十九歳までフルタイ  
ムで働くことができたのは大変幸せ  
でした。これからは今までの経験を  
活かしてセンターから紹介頂いた仕事  
に精通したいと思っております。

# 元気で働けることに感謝



飯塚・樫沢地区  
星野 清六

山形市の高齢化率（二十七年  
二十六・九％今後増加傾向。又認  
知症の方も増加、年をとっても健康  
でありたいものです。その為には、  
適切な運動、バランスの良い食事、  
他の方と会話して頭を使う等、意  
識的に刺激を与え、活性化が必要と  
看護師さんから聞いております。

家庭菜園をしており、畑に行く  
仕事は沢山あり、毎朝汗だくになり、  
毎年同じように作業やっても天候も  
変わるので作物は同じように出来な  
い。頭を使い色々工夫するのが楽  
しい。又、シルバーセンターで一  
月半日ずつ約十二日間勤めており、  
ネクタイをして服装を整え出勤しま  
すので、時間にくぎりがつき体にも  
生活のリズムが出来良い職場です。  
町内の役もあり、一日が早いです



つながり

# 多員の

## 健康・趣味

が忙しく動ける事はありがたい事です。多くの方々のお蔭様と思っております。みんなに感謝している今日この頃です。



滝山一地区

梅津 孝則

### 苦い登山経験から学んだ体力の減退

還暦後、友人を案内し飯豊山に登ることになった。お互いまだまだ気力、体力共に充実し何不足ない気持ちだった。

登山は天候にも恵まれ途中から雪渓コースに入ったが順調だった。雪

渓を三分の二程上り大分疲労が出て来たと思いつながら登っていた時、後ろから「あつ」という声が出た。振り返ると雪渓斜面を滑落していた。幸いにも三十メートル位で停止したが暫く脇腹を押えたまま動けなかった。他のパーティの助けを借りようやく雪渓を上り切ったものの足が痙攣し、ひどく疲れ切った状態だった。

当然その行の予定を中止し下山したが友人は肋骨骨折の大怪我を負っていたことが判明した。

一歩違っていたら大きな遭難事故かと肝を冷やす苦い経験をした。

自分や相手の体力・運動能力・特に加齢による体力の減退状態等を考慮に入れてコース選択などをすべきであったと深く反省しているところです。



### 紅花の里・高瀬へきてけらしやい



山寺・高瀬地区  
赤塚 正弘

高瀬地区は、自然豊かな里山が多く、紅花の里として知られています。栽培している紅花は、「最上紅花」というトゲのある品種です。生産者は十四軒と聞いておりますが、伝統ある紅花畑を堅持しています。収穫

時期の紅花は、黄色で埋めつくされ、すばらしい紅花畑になります。紅花から黄色と紅色の二色を抽出すること出来ますが、黄色九十九%で残り

1%は紅色であり、染料としての紅花は貴重で高価なものとされてきました。ちいっとタイムスリップし江戸時代「紅」の原料となる紅餅は、

一駄（馬一頭が背負う荷重に相当）で米百表の価値、米や金を遥かにしのぐものとなり「米の百倍・金の十倍」と謳われる高級品だったそうです。出羽山形城十一代城主最上義光

が紅花の流通の増加に伴い「花市場」を作ったことで山形は商業都市として栄えて、大いにぎやかで上方から多くの人が集まったとのいい伝えがあります。紅花の里高瀬として毎年七月十日前後に美しい紅花畑が広がります。高瀬地区のみなさんが一体になり盛大なイベントを行います。毎年県内外から大勢のお客さんが来られます。

シルバー人材センター会員の皆さんも是非高瀬の紅花を歴史の流れを思い出しながら美しい紅花を見て楽しんでみたらいかがでしょうか。



紅花畑

シルバーに

人あり 技あり 心あり

歌は楽しい 歌は心の支え



第六地区 金丸 政子

センターの愛好会・シルバーコーラス銀の笛（現在会員十二名・月二回・第二、第四木曜日・中央公民会にて練習）の代表を務める金丸政子さんは、会の発足時から携わりすでに十二年になろうとしている。

「発足当時は会員三十名を少し大きなステージにも立ち、楽しい思い出をたくさん作ってきたが、高齢化・体調不良・家庭の事情等で会員が少なくなり残念でならない。」と少しばかり寂しげ。

「でもね」と明るい表情でグループの現在のありのままを話してくれました。「会員みんなが会の仕事を手分けして分担して実行しています。どんな小さなことでも役割を持つことは励みになるでしょう。鍵の係・コピー係・会計係……みんなが会員の

ために役に立つということとは張り合

いがあるでしょう。練習にもいろいろ考えてあるの。コーラスの練習をした後、鉛玉タイムと言って鉛玉をしゃぶって休憩。そのあと、自分の好きな歌をリクエストしてピアノ伴奏に合わせて思いっきり歌うのです。

その歌には、その人の人生の中で何か特別の思い出があるのでしょう。そこがいいのよ。会員の人が歌うことよって元気を取り戻し、体調が以前よりよくなった人もいます。だから、歌は心の支えになるの。最近練習の後、近くの店でティータイム。その時の話題がいろいろあつてとっても楽しいの。会員募集中です」と話が弾む。

会員の平均年齢七十五才。以前は保育士として務められた経験が会員の心をつかんでおられると感じた。（取材・広報部）



女性部会だより

女性部会長 村田せつ子

七月三十一日 真夏の暑い中、女性部会事業活動の講習会を開催しました。今回は「わくわく折り紙教室」。講師の先生は女性部役員の塩野美智子さん。童心にかえってみなさん二点の作品づくりに夢中になりました。一点目は立体的な五枚のパーツからなるクリスマス用のデラックスな「お星さま」、二点目は縁起の良い「ゴージャスな「福鶴」に挑戦しました。折り紙を直角二等辺三角形形状になるように半分に折り開いて戻してみると意外に高度なテクニクが次々必要。難関あり

で大苦戦。わくわく感をたつぷり味わいました。頭の体操に最高です。これがまた楽しく予定時間よりかなりオーバーしましたが、素敵な飾り「お星さま」と幸せを呼ぶ「福



鶴」を完成させることが出来ました。「やったあー!」。皆さんの満面の笑顔が素敵でした。会場整理の後、昼食会に入り美味しいお弁当を頂きながら大先輩も初参加の方もおしゃべりがはずみ、大きな笑い声とともにコミュニケーションの場が盛り上がりました。元気に楽しく仲良くお仕事を続けるために、これからも魅力的な楽しい講習会を企画していきます。今年度より女性会員のための楽しい集い「しるんば「コミサロン」もスタートしました。皆様の参加をお待ちしております。



## 就業会員を訪ねて

### 設楽 みつ (スポーツプラザ21)

七日町通りのナ

ビーンスの三階

のスポーツプラザ

21、「モンテディオ

山形オフィシャル

ショップ」を訪ね

ました。取材の申し

出に、リーダーの設

楽みつさんより応

対して頂き、お話を

伺いました。プラザ

の設立は二〇〇九

年に当ビルの八階でオープンし、

二〇一四年四月モンテディオが

J2 在籍時に三階フロアーに移

転し、営業をしているとのこと

でした。スタッフの構成はシル

バー会員四名で、時間は十時か

ら十四時・十四時から十八時の

シフト制で、いつも連帯を図り

ながら就業しているとのこと

です。業務内容は、チケット販売

を主体に、商品の陳列販売、イ

ベントの手伝い、パソコンでの

在庫その他の管理、又、お客様

には熱烈的なサポーターや、業界

に詳しい質問客、女性サポー

ターや、年齢層も多岐にわたり、

シルバー会員の立場上、知識不

足は「明るく、気配り」を心掛

け、その方に合わせた責任感のある

対応をしているとのこと

です。そのあとに、設楽さんに今の仕事

をやって苦労したこと、やって良

かったと思ったことをお聞きしまし

た。その中で熱烈的な女性サポーター

の方の苦情の話があり、それは、

ながながとしたクレームで、設楽さ

んは反論もしないで聴くことに徹し

て、その場は終わりました。その後、

忘れた頃に偶然にその方に出会い、

相手の方からあの日のことのお詫び

の言葉と謝罪の態度を受けました。

との話で「聴き上手は話し上手」を

思い出し、新たな知人が出来た、設

楽さんの人柄と温かな包容力が表れ

ている話でした。人材センター会員

には人生経験の豊かな優秀な人が多

いと強く感じた有意義な取材でした。

(取材・広報部)



## 新入会員紹介

(7月1日～9月30日まで)

第一地区	第二地区	第三地区	第四地区	第五地区	第六地区	西地区	第十地区	鈴川二地区	鈴川三地区	千歳地区
服部 一夫	原田 泰幸	増田 喜裕	田中 栄子	井上 菊二	小野寺 清	小笠原洋一	渡邊禎次郎	狩野 安芳	長尾 栄介	東海林静雄
飯塚・楢沢地区	東沢地区	滝山一地区	佐藤 利彦	平井 信夫	齊藤 鉄治	阿部美佐子	蔵王地区	南山形・本沢地区	南沼原地区	
池田 恒夫	鈴木 信子	土田 一夫	高橋 孝義	加藤 武男	伊藤 廣	佐藤 洋子	佐藤 昭夫	佐藤 洋子		

# 事務局だより

(協)山形市シルバー人材センター

山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(〇三三)六四七―六六四七

## 新事務局職員紹介

ようこそようこそお願ひします。



嘱託職員

本号 成美

## 行事イベント案内

### ★地区研修会に参加しましょう

本年も各地区ごと開催されますので、皆さんのご参加をよろしくお願ひします。

※女性部会では、未使用のタオルの寄付をお願いします。地区研修会の際にも受付いたしますので、ぜひお持ちください。

### ★創作品展示即売会

日時：十月二十二日(木)

～二十四日(土)

場所：山形テルサ一階

(互助会文化祭会場)

出品作品の準備をお願いします。

男性・女性会員とも積極的な参加をお待ちしています。

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagatahi/>  
E-mail: [yamagatahi@sjc.ne.jp](mailto:yamagatahi@sjc.ne.jp)

### ★ごまは(3)サロンの開催について

女性会員のための楽しい集いです。皆様のご参加をお待ちしています。

#### 《第三回の開催内容》

日時：十一月十五日(火)

場所：鈴川交流センター(五十鈴)

内容：クリスマスデコケーキ作り

※詳しい内容については別途

ご案内いたします。

その他、様々な催しを企画中です！

## お知らせとお願い

### 配分金支払日

十月二十日(火)

十一月二十日(金)

十二月十八日(金)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘をお願いします。

十月十五日(木)

二十二日(木)

二十九日(木)



- 十一月五日(木)
- 十二日(木)
- 十九日(木)
- 十二月三日(木)
- 十日(木)
- 二十四日(木)

### 就業相談日(午後一時三十分)

(就業に関しての相談です)

十月十五日(木)

十一月十二日(木)

十二月十日(木)

### 地域の総合検診は

#### 必ず受けよう!

健康でなければ良い仕事はできません。各地区の総合健診を受診して、健康管理に努めましょう。

### 会員を募集してまいります!

当センターでは、現在新規の会員さんを大募集しています!ぜひ、ご家族やお友達へ入会の勧誘をお願いします。

また、十月は普及啓発月間です。

イチイチ運動(一人の会員が、一人の新規会員と一件の新規受注の開拓運動)への積極的な取り組みをお願いします。

※特に女性会員の入会を募集しています。

## あとがき

今年の花笠祭りは三日間とも天候に恵まれ、五十二団体で約四七〇〇人の踊り手が県内外からの観光客を楽しませ、もてなしてくれました。しかし、今年の夏は今まで経験したことのないような暑さにもなり、熱中症で病院に搬送される方もニュース等で多く聞かれました。

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますが残暑見舞いを出す間もなく秋の深まりを感じつつ、寒暖の差に体調がついていけないような気もいたします。やはり地球温暖化の影響なのでしょう。健康には十分留意し安全就業に努め日々の生活を送りたいものです。

秋は芋煮会・文化祭等会員の多彩な作品を見学できる行事イベントが計画されており、会員として積極的に参加し親睦を深めていただきたいと思います。

最後になりますが、会報「シルバーやまがた」第一二〇号の発刊にあたりご執筆・取材にご協力いただきありがとうございます。